

暑中お見舞い 申し上げます



六月の市議会議員選挙で皆様のご支援をいただき、今期五人の議員団で市民のいのち・くらしを守る市政の推進に全力を尽くします。菅政権はコロナ対策で無為無策を続け、感染を抑え込めていないのに五輪開催に突き進み、国民の命が犠牲にされようとしています。十月までに必ず行われる総選挙で菅政権を退陣させ、野党連合政権を実現するために、「比例は日本共産党」「兵庫八区はこむら潤」の押し上げにがんばります。どうぞよろしくお願いいたします。

日本共産党尼崎市議員団

長梅雨やゲリラ豪雨など、この夏早くも明らかに異常気象です。環境といのち暮らしを守る、持続可能な経済社会への転換は待ったなしです。科学を尊重せず法を曲げ、大企業の儲けにつなげようとする自公・維新政治では、転換を成し遂げることはできません。コロナ対策、五輪問題も然りです。今こそ憲法を守り活かし、国民の当たり前の権利を守る政治、未来に見通しのある政治に切り替えましょう。総選挙に向け、全力で頑張ります。

日本共産党

兵庫8区国政対策責任者

こむら潤



こんにちは
日本共産党議員団です

2021年 夏号
尼崎市東七松町1-23-1
☎06-6489-6070 fax06-6489-6073
jcpam-sigidan@hcc6.bai.ne.jp



日本共産党尼崎市会議
員団HP 日本共産
党
d H 回 覧 冊 専 用 印

活動報告

新型コロナウイルス感染から いのちとくらしを守る要望署名を提出

6月28日「コロナ署名」を携えて、「新型コロナからいのちとくらしを守る尼崎の会」が署名の提出と意見交換を行いました。

署名は4月後半から5月末までの限られた期間の取組でしたが多くの市民のみなさんが積極的に関わり、7464筆の署名が集まりました。この署名には市民のいのちとくらしを守ってほしいという願いが強くこもっています。また、急な日程調整でしたが、約20人の市民が参加されました。

<要望項目に対する市の回答は>

- 希望する市民すべてにPCR検査を市の責任で実施すること→「有症状者を優先して検査する」「希望する人すべては物理的に無理」といった従来からの回答を繰り返す。
- 陽性者全数の変異株検査を→国からの通達があり、全数実施している。
- 生活困窮者への市独自の支援を→国・県の支援の動向を見て、狭間の人への支援を研究する(スピード感がない回答)。
- 「生理の貧困」への対応を→災害備蓄品の更新で不要となる生理用品を福祉の窓口などで配布していると回答。「会」から、予算化して学校のトイレに常時配備するよう要望。

市のコロナ対策は、国の通達に忠実に従い独自性の少ないものだということが今回の意見交換でも明確です。市民の実情に合わせた科学的な対応が進むよう、日本共産党議員団はこれからもがんばります。



7464筆の署名を前に
新型コロナウイルス感染からいのちとくらしを守る会の皆さんと。



意見交換 こむら潤さんも共に。

日本共産党市議団の新しい体制・役職をお知らせします



● 山本なおひろ
副幹事長
総務委員会
議会だより編集委員



● 広瀬わか
な
経済環境委員会



● まさき 一子
政策委員長
建設消防防災委員会副委員長
兵庫県競馬組合議会議員



● 川崎としみ
幹事長
文教委員会
総合計画等協議会副会長



● 松沢ちづる
団長
健康福祉委員会副委員長
社会福祉事業団評議員